

電子複合機保守仕様書

1 件名

令和8年度 複合機（コニカミノルタ製品）保守契約

2 契約期間

令和8年4月1日から令和9年3月31日まで

3 機種、設置場所、年間使用見込枚数及び月最低保証枚数

別表のとおり。

なお、年間使用見込枚数はあくまでも見込みであり、実際の使用枚数との間に差異が生じた場合であっても保守業者は異議を申し立てることはできない。

また、契約期間内に山口労働局において別表のいずれかの対象機種を売払い・廃棄等の処分をした場合（以下、複合機Aと表現する）においては、当該事象発生月には複合機Aについて使用枚数に応じた保守料金と複合機Aの月最低保証枚数による保守料金とを比較し、いずれか高い金額を支払うこととするが、翌月以降は複合機Aに関して支払いを要さないものとする。

4 保守内容

（1）故障時の連絡を受けてから原則3時間以内の対応が可能であること。

ただし、故障等の連絡が午後3時以降であった場合は、翌日午前10時までに対応すること。

（2）部品、トナー等消耗品の在庫を常時所持し、緊急時の対応ができること。

（3）保守料金には次の経費を含むこと。

ア 用紙以外のトナー、ドラムカートリッジ等の消耗品、部品の代金及び取替・回収費用

イ デジタル複合機の定期保守点検費用

ウ 故障時の派遣及び修理費用

5 請求・支払

請求については毎月末締とし、翌月10日までに「官署支出官 山口労働局長」宛の請求書を作成し、総務課会計第一係に提出すること。

請求書は、設置場所、機種名、単価、使用枚数、月別等が明確にわかるように発行すること。（設置場所毎に請求書の分割発行を依頼する場合がある。）

なお、使用枚数は総枚数から不良コピー分（総枚数の2%、端数切上げ）を控除した枚数とすること。消費税により円未満の端数が生じた場合は、切り捨てること。

支払については、適法な請求書を受け付けてから30日以内に指定口座に振り込むこととする。

6 その他

対応の遅れが頻繁に発生し、業務に支障を来す場合においては、契約を解除することがあること。

その他、仕様書・契約書に定めのない事項については山口労働局と応札者とで協議の上決定する。